

健康づくりは幸せづくり

Making Health
is Making Happiness



証券コード ● 4559

第72期

中間株主通信

2025年4月1日～2025年9月30日

Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況(連結)	P.3
通期業績の見通し・配当予想／研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
株主様ご優待のお知らせ	P.7
財務諸表(連結)	P.8
会社情報	P.9
株式情報	P.10
株主メモ	



ゼリア新薬

Z E R I A



代表取締役会長兼CEO

代表取締役社長兼COO

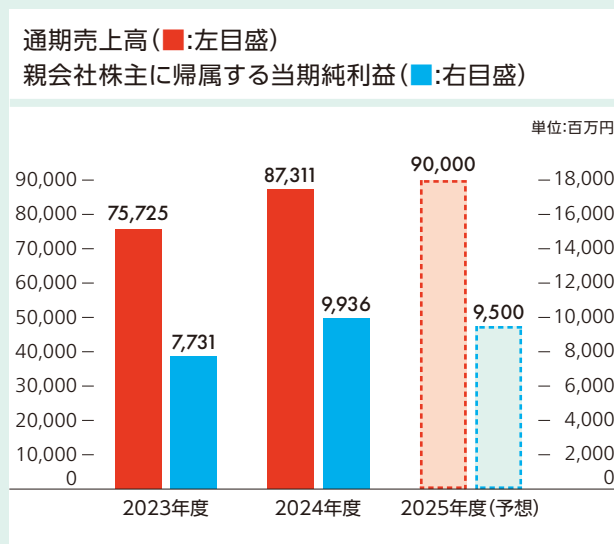
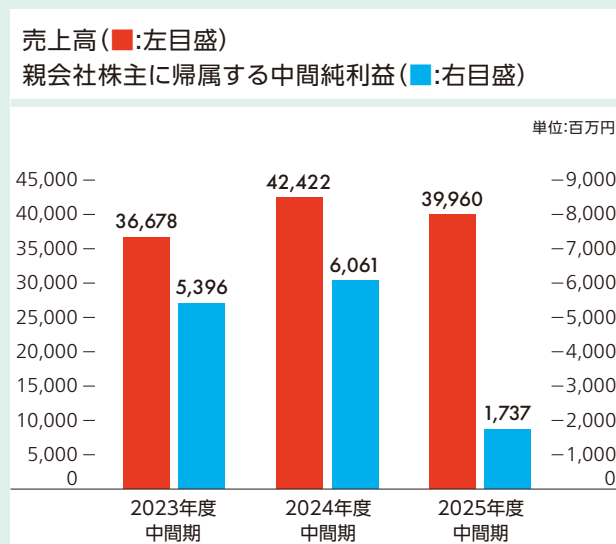
伊部幸顕 伊部 充弘

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第72期中間連結会計期間の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

— 第72期 中間決算の概要 —

当中間連結会計期間の業績につきましては、海外市場において、前年度第4四半期の出荷が大幅に増えたことによる反動に加え、アサコールの製造を委託している工場での生産設備に不具合が発生し、一定期間十分な製品供給が受けられなかったことなどから、売上高は399億60百万円（前年同中間期比5.8%減）となりました。営業利益につきましては、売上の減少に加え、原価や海外子会社の基幹システム投資などの経費の増加により36億41百万円（前年同中間期比43.6%減）となりました。また、前年同中間期は約13億円という多額の為替差益を計上いたしましたが、当中間期は約10億円の為替差損に転じたため、経常利益26億56百万円（前年同中間期比66.6%減）、親会社株主に帰属する中間純利益17億37百万円（前年同中間期比71.3%減）となりました。

なお、通期連結業績につきましては、前年度第4四半期の出荷大幅増の影響の緩和、および「アサコール」の製品供給体制の正常化により、海外の医療用医薬品事業の回復が見込まれることなどから、売上高、利益ともに当初予想の水準に達するものと見込んでおります。



医療用医薬品事業

主力製品のクロストリディオイデス・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」(国内販売名:「ダフクリア」)につきましては、海外市場において前年度第4四半期に出荷が大幅に増えたことによる反動などにより、僅かに減収となりました。「アサコール」につきましては、海外市場においては製造を委託している工場での生産設備に不具合が発生し、一定期間十分な製品供給が受けられなかったことなどから減収となりました。なお、当該生産設備は復旧し、既に製品供給体制は正常化しております。国内市場においても、薬価改定や選定療養制度の影響により減収となりました。炎症性腸疾患治療剤「エントコート」(国内販売名:「ゼンタコート」)につきましては、海外の一部の国で後発品の影響を受けたほか、最大市場であるカナダ向けの出荷タイミングが下期にズレ込んだことにより減収となりました。2025年3月に国内での販売を開始した高カリウム血症治療薬「ビルタサ懸濁用散分包8.4g」につきましては、早期の市場浸透に努めております。

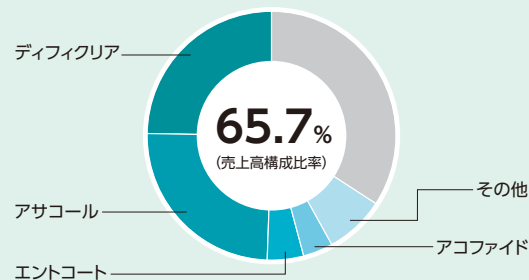
これらの結果、当事業の売上高は、262億8百万円(前年同中間期比8.2%減)となりました。



売上高

262億08百万円 前年同中間期比 **8.2%減**

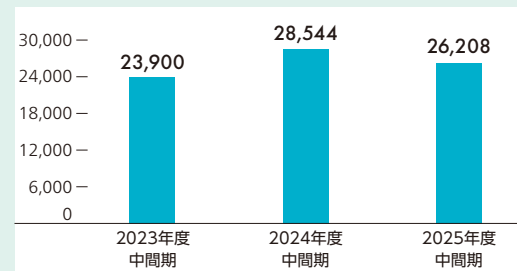
主要製品売上高



ディフィクリア	98.5億円
アサコール	98.4億円
エントコート	18.5億円
アコファイド	15.6億円

医療用医薬品事業連結売上高

単位:百万円



コンシューマーヘルスケア事業

主力製品につきまして、「ヘパリーゼ群」は、医薬品ヘパリーゼ群・コンビニエンスストア向けヘパリーゼW群ともに売上が伸長しました。特に、医薬品ヘパリーゼ群につきましては、「疲れ」対策としての訴求が引き続き奏功したことや、2025年9月に発売した新製品「ヘパリーゼ胃腸内服液EX」の寄与により、好調に推移しました。「コンドロイチン群」や植物性便秘薬「ウィズワン群」につきましても、広告宣伝の効果により売上が増加しました。一方、皮膚疾患治療剤「プレバリン群」や薬用歯みがき「マステント群」などの一部製品は、競合品の影響などにより、売上は減少しました。

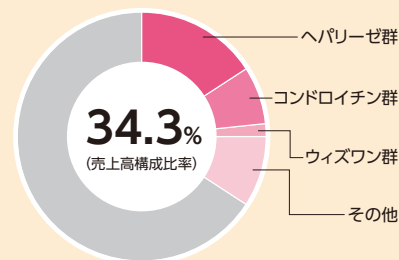
これらの結果、当事業の売上高は、136億75百万円(前年同中間期比0.9%減)となりました。



売上高

136億75百万円 前年同中間期比 **0.9%減**

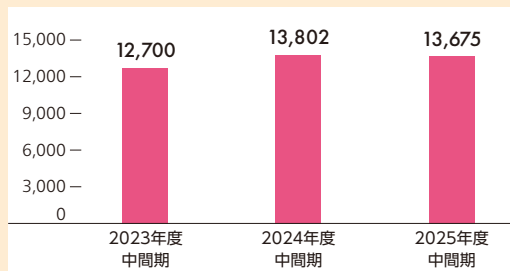
主要製品売上高



ヘパリーゼ群	64.2億円
コンドロイチン群	28.9億円
ウィズワン群	7.3億円

コンシューマーヘルスケア事業連結売上高

単位:百万円





通期業績の見通し・配当予想

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、前年度第4四半期の出荷大幅増の影響の緩和、および「アサコール」の製品供給体制の正常化により、海外の医療用医薬品事業の回復が見込まれることなどから、売上高、利益ともに当初予想の水準に達するものと見込んでおります。

また、配当につきましては、5期連続での増配となる、年間48円(前期比1円増配)を予想しております。

	第71期	第72期(予想)
売上高	873億11百万円	900億円
営業利益	121億97百万円	120億円
経常利益	128億40百万円	120億円
親会社株主に 帰属する 当期純利益	99億36百万円	95億円
年間配当	47円	48円



研究開発の状況

医療用医薬品 国内

Z-338(アコファイド、一般名称:アコチアミド)につきましては、小児機能性ディスペプシアを対象としたフェーズⅢ試験を進めるとともに、同一成分のZG-802につきましては、フェーズⅡ試験を滞りなく推進しております。Z-100につきましては、特定非営利活動法人 North East Japan Study Groupが非小細胞肺癌を適応症としたフェーズⅡ特定臨床研究を実施しております。

医療用医薬品 海外

ライセンスアウトを中心にアコファイド(アコチアミド)の海外展開を進めております。中南米12カ国におきまして、提携先のFaes Farmaでは、機能性ディスペプシ

アを適応症として製造販売承認を申請しており、新たにニカラグアで承認を取得しました。これにより、これまでに9カ国で承認を取得、そのうち8カ国で販売が開始されております。ベトナムにおいては当社子会社の Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rdが製造販売承認を申請中です。欧州、米国、カナダにおいてはAgastra-Lab s.r.l.がフェーズⅢ試験を準備中です。

コンシューマーヘルスケア

指定医薬部外品「ヘパリーゼ胃腸内服液EX」、同「ヘパリーゼ胃腸ドリンク」、およびイオナ化粧品「イオナエフ ナイトラッピング パック」を発売いたしました。

新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(2025年11月5日現在)

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
フェーズⅢ	Z-338／アコチアミド	ゼリア	小児機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-802／アコチアミド	ゼリア	低活動膀胱	下部尿路機能改善作用	自社品
フェーズⅡ (特定臨床研究)	Z-100	特定非営利活動法人 North East Japan Study Group	非小細胞肺癌	免疫調節作用	自社品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
承認 (ニカラグア)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)
申請中 (ベトナム)	Z-338／アコチアミド	Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
申請中 (コロンビア、コスタリカ、パナマ)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)
フェーズⅢ (欧州、米国、カナダ)	Z-338／アコチアミド	Agastra-Lab s.r.l.	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)

発売となった開発品

発売日	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
2024年11月 (ペルー)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)
2025年3月 (日本)	ZG-801／ パチロマーソルピテクスカルシウム (販売名: ビルタサ懸濁用散分包8.4g)	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性 ポリマー	導入品

ご参考

フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ*と比較しながら調べます。

フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

※ プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。

- 保有株式数1,000株以上:A〜Fコースの中から、いずれか1コースを選択
また、長期保有優遇として、1,000株以上を3年以上継続保有していただいた株主様には、
ご選択のご希望コースに加え、「ヘパリーゼWプレミアム極」10本を贈呈
- 保有株式数100株以上1,000株未満:下記いずれか
保有3年未満の株主様…Gコース
継続保有3年以上の株主様…「ヘパリーゼWプレミアム極」10本

ご試用によって、当社グループの幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。



Aコース

清涼飲料水・指定医薬部外品・
特定保健用食品

「アルミ缶入りドリンク詰め
合わせ・ヘパリーゼWセット」



Eコース

上質なうおいを
体感する3品目

「IONAベーシック
スキンケア3点セット」



Bコース

栄養補助食品・指定医薬部外品
「コンドロサポート・コンドロ
アミノCa錠詰め合わせ」



Fコース

コンドロイチン研究を活かした、
うるおい体感の上質スキンケア
「イオナ R スペシャルケア
2点セット」



Cコース

健康補助食品
「シーアルパ100」
180粒入り1個



Gコース

肝臓エキス・ウコンエキス
配合ドリンク
「ヘパリーゼW」10本



Dコース

スパ発想の
オールインワン化粧品
「イオナ スパ&ミネラル
詰め合わせ」



3年以上継続保有贈呈品

肝臓エキス・ウコンエキス
配合ドリンク
「ヘパリーゼW
プレミアム極」10本



E,Fコースの製品はゼリアオンラインショップ (<https://www.zeriaonline.com/>) でお買い求めいただけます。

財務諸表(連結)

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前 期 末	当中間期末
		2025年3月31日現在	2025年9月30日現在
[資産の部]			
流動資産		69,529	70,009
現金及び預金		23,592	22,652
受取手形及び売掛金		26,742	24,924
商品及び製品		8,592	11,062
仕掛品		2,352	2,619
原材料及び貯蔵品		5,489	5,968
その他		2,892	2,861
貸倒引当金		△131	△78
固定資産		89,641	88,727
有形固定資産		26,641	26,800
建物(純額)		6,437	6,207
土地		12,658	12,657
その他(純額)		7,544	7,935
無形固定資産		40,361	39,017
投資その他の資産		22,638	22,909
資産合計		159,171	158,736
[負債の部]			
流動負債		54,449	53,421
買掛金		3,971	5,072
短期借入金		34,298	34,326
その他		16,179	14,023
固定負債		14,925	13,505
長期借入金		6,865	5,515
退職給付に係る負債		224	261
資産除去債務		56	56
その他		7,779	7,672
負債合計		69,374	66,927
[純資産の部]			
株主資本		67,219	67,898
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		11,685	9,664
利益剰余金		67,207	67,886
自己株式		△18,266	△16,245
その他の包括利益累計額		22,320	23,772
非支配株主持分		257	138
純資産合計		89,797	91,809
負債純資産合計		159,171	158,736

中間連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
		2024年4月 1日から 2024年9月30日まで	2025年4月 1日から 2025年9月30日まで
売上高		42,422	39,960
売上原価		11,409	11,169
売上総利益		31,013	28,791
販売費及び一般管理費		24,554	25,150
営業利益		6,459	3,641
営業外収益		1,791	440
営業外費用		301	1,425
経常利益		7,949	2,656
特別利益		2	—
特別損失		200	2
税金等調整前中間純利益		7,751	2,653
法人税等		1,625	1,007
中間純利益		6,126	1,646
親会社株主に帰属する中間純利益		6,061	1,737

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
		2024年4月 1日から 2024年9月30日まで	2025年4月 1日から 2025年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		8,695	3,390
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,146	△1,519
財務活動によるキャッシュ・フロー		△5,130	△3,350
現金及び現金同等物に係る換算差額		1,146	540
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		3,564	△939
現金及び現金同等物の期首残高		18,604	23,467
現金及び現金同等物の中間期末残高		22,168	22,527

会社概要

創立	1955年12月
資本金	6,593,398,500円
社員数	1,778名(連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

取締役および監査役

代表取締役会長 兼 CEO	伊 部 幸 顕
代表取締役社長 兼 COO	伊 部 充 弘
取締役(社外取締役)	小 森 哲 夫
取締役(社外取締役)	野 本 亀久雄
取締役(社外取締役)	森 元 誠 二
取締役 兼 常務執行役員	岡 澤 有 輝
常勤監査役	遠 藤 広 和
常勤監査役	黒 田 博 之
監査役	中 由 規子
監査役	紙 透 大

執行役員

常務執行役員	加 藤 博 樹
常務執行役員	桜 井 政 和
執行役員	平 賀 義 裕
執行役員	河 越 利 明
執行役員	草 野 研 治
執行役員	岩 井 充
執行役員	秋 庭 和 広
執行役員	鈴 木 健 一
執行役員	田 中 靖 久
執行役員	渡 辺 剛 志

取締役の兼任を除く

事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 中四国支店
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 第二筑波工場
- 札幌物流センター
- 東京物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

主な子会社

- Tillotts Pharma AG(スイス)
- Tillotts Pharma AB(スウェーデン)
- Tillotts Pharma Ltd.(アイルランド)
- Tillotts Pharma UK Ltd.(英国)
- Tillotts Pharma Czech s.r.o.(チェコ)
- Tillotts Pharma Spain S.L.U.(スペイン)
- Tillotts Pharma GmbH(ドイツ)
- Tillotts Pharma France SAS(フランス)
- Tillotts Pharma Italy srl(イタリア)
- Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd(ベトナム)
- ZPD A/S(デンマーク)
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- イオナ インターナショナル株式会社
- 株式会社ゼービス
- 株式会社ゼリアップ

株式の状況

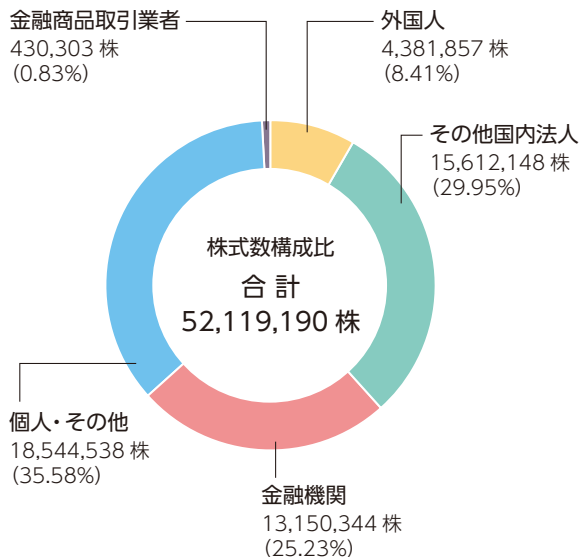
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	52,119,190株
③株主数	19,411名

大株主

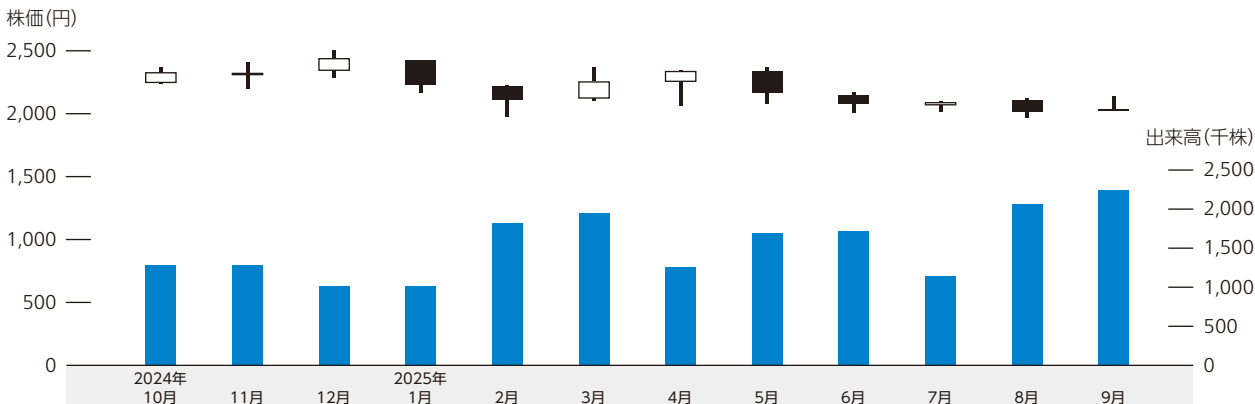
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社伊部	5,330,347	12.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,353,100	7.6
株式会社三菱UFJ銀行	2,107,050	4.8
伊部幸顕	1,592,967	3.6
森永乳業株式会社	1,472,215	3.3
株式会社三井住友銀行	1,406,131	3.2
株式会社みずほ銀行	1,406,053	3.2
三井住友カード株式会社	900,900	2.0
キッセイ薬品工業株式会社	867,900	2.0
ゼリア新薬工業従業員持株会	788,525	1.8

(注) 持株比率については、自己株式(8,039,707株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月下旬		
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/		

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の
口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行
株式会社にお申出ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

<https://www.zeria.co.jp/>

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを
開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュース
まで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<https://www.zeria.co.jp/>

